KNT－CTパートナーズ会総会特集

連合会、KNT－CTが連携強化

観光の真の復活へ　情報発信、誘客拡大

東海連合会

エリア商談会開催へ

上野　哲男（鳥羽グランドホテル）

日頃よりご厚情を賜っております関係各位に対しまして、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年度を振り返りますと、日本経済は依然、新型コロナウイルス感染症の拡大に見舞われ、さらに後半にはオミクロン変異株も出現し、停滞が続く1年でありました。

管内は、「あいち旅eマネーキャンペーン」、「みえ得トラベル」や「〝ぽっと一息、ぎふの旅〟キャンペーン」、「バイ・シズオカ～今こそ！しずおか！！元気旅！！！～」など、夏から秋にかけて域内観光需要を誘発する施策が行われましたが、従来の活気まで取り戻すことはできていない現状があり、当エリア宿泊券の実績は2019年度の約4割、2020年度の8割にとどまりました。

東海連合会は、愛知、岐阜、三重各県と、静岡県の西部からなる支部で組織されており、各支部が主体的に活動し、連合会はそれを側面から支援していく体制を取っております。本年度は、各支部ともアフターコロナを見据え、旅行販売部門の社員の皆さまに当地域を応援いただくため、説明会、受け入れ研修等さまざまな企画をしておりますので、ぜひご参加のほどお願いいたします。

また、連合会として、本年秋には、延期となっておりました東海エリアの商談会も計画しておりますので、現地の最新情報をご提供いただければと存じます。

会社におかれましては、近畿日本ツーリスト個人旅行事業のDX化、団体旅行事業の自治体連携、クラブツーリズムの地域共創事業をそれぞれさらに拡大されていくと伺っております。

目的が成就できるよう、連合会会員一同協力してまいりたいと考えております。

年度が変わり、まん延防止等重点措置が全国的に解除され、人の動きも活発化してきましたが、物価高など消費意欲にブレーキをかける動きも続いております。

先行きはまだまだ不透明でありますが、本年も会員の皆さまとKNT－CTホールディングス全社員の皆さまの繁栄をご祈念申し上げるとともに、当連合会への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

北陸連合会

北陸キャンペーンに注力

萬谷　正幸（瑠璃光）

コロナが始まって3年目に入り、今年3月には全国的にまん延防止措置も解除され、ようやく少しずつ人の動きも出てきたように思われますが、まだまだ厳しい状況が続いています。一日も早い感染対策をしながらのウィズコロナの時代になるような国の政策を期待しています。

ただ、北陸3県としては2年後の北陸新幹線の敦賀延伸開業という一大イベントが控えております。開業年の秋からはJRの北陸デスティネーションキャンペーンが実施される予定になっていますが、パートナーズ北陸連合会としては石川、富山、福井各県の自治体とも連携しながら、コロナで痛んだホテル旅館、バス運輸、観光施設で協力体制をとりながら、2年後に向けてプレ誘客キャンペーンを切れ間なく実施していくよう要望してまいりました。

そのような中で、今年の秋、10月からKNT－CTホールディングスの「ニッポン旅列島北陸キャンペーン」が実施されることになり、連合会として今年はこれに全力をあげて取り組んでいく計画をしております。5月23日には、金沢でそのキックオフ会議とキックオフパーティーを開催し、秋からのキャンペーンの成功に向けた事業の取り組みをスタートいたします。

北陸連合会の事業は県支部と違って、旅館、運輸、観光施設が一体となり、地域への誘客をはかることを主体としており、クラブツーリズムのイベント事業への予算がメインとなっていますが、このコロナの時代で各地での人が集中するようなイベントはなかなか難しくなってきています。ただ今年度は、各地域の埋もれた観光資源や食の魅力を生かしたさまざまな誘客事業やイベントを展開していくよう準備しています。

また、これまでできなかった首都圏、中京、関西への出向宣伝や社員研修の受け入れ、北陸での個別商談会なども積極的に実施していく計画をしています。新しい生活様式とか、アフターコロナの時代といわれるようにDXがどんどん進み、リモートワークやZoom会議などが普通になり、マスク着用やソーシャルディスタンスが日常のことになってきて、団体旅行や宴会需要、そしてインバウンド客が以前のように戻ってくるのかは分かりません。少なくてもまだ1、2年はコロナ前には戻らないことを覚悟して経営にあたらなければならないように思われます。

北陸連合会としても今年の北陸キャンペーンを一過性のものとして考えずに今後とも新しい時代に向けた受け入れ体制の整備をしっかりと見直していき、次の北陸新幹線延伸開業に向けてさらなる魅力づくりや事業を実施していきたいと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。

四国連合会

元気な四国発信で誘客

大木　正治（ホテル葛城）

日差しが強くなり始めた4月25日、四国高知で四国連合会総会を開催しました。全国でも2番目に早く開催で、約160名さまの参加があり、四国への旅行需要復活そして定着に向けて、一同熱い思いを共有し動きだしたところです。商談会も同日開催し、最新の情報交換や取り組みを活発にPRしました。翌日は新しい観光地と修学旅行にテーマを分けてエクスカーションを実施し、KNT－CTホールディングス会社の社員、全国から50名超が参加しました。

今年度は、瀬戸内芸術祭、四国アフターデスティネーションキャンペーン、四国総体、えひめ南予きずな博等イベントも多くあります。また、修学旅行需要は前年比160％を超えており、自然や体験素材も豊富で、新しい仕向地として今後もさらに拡大が望めます。個人客需要でもアニメや来年のドラマ舞台など各メディアやSNS等多岐にわたり脚光を浴びており、幅広いお客さまに見ていただける追い風もあります。

四国連合会では、今年度はさらに四国の魅力発信のために、三つの取り組みをします。

まずは商談会の2回開催をいたします。WITH コロナの時代に、旅行形態は瞬時に変わっていきます。常に最新情報や対応を皆さまと共有し、四国4県への誘客促進に今年度以降も見据えてアグレッシブに動いていきます。

2番目は、昨年発足した「四国未来創造委員会」活動です。宿泊・運輸・観光の各社代表者で構成し、課題や提案を持ち寄り、会社と協業して、コト消費をテーマに情報発信と素材開発を行っています。

3番目は人気観光列車「3つのものがたり列車」の商品参画です。高付加価値商品で、お客さまにも会員へも質的満足の目線で意識改革にチャレンジします。満足度の高い旅行先として、サステイナブルな旅先として、四国を発信してまいります。

KNT－CTパートナーズ会会員の皆さまとKNT－CTホールディングスグループ各社の皆さまのご繁栄をご祈念申し上げますとともに、四国連合会への一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

九州連合会

新幹線開業 起爆剤に

宮原　知司（ホテル龍登園）

KNT－CTパートナーズ会会員の皆さま、本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大により被害を受けられている会員の皆さま、また、多くの観光関係の皆さまにお見舞いを申し上げます。

KNT－CTパートナーズ会も本年で発足してから3年目を迎えますが、うち2年間がコロナ禍の真っただ中となり、九州連合会総会も2年続けて書面にての総会となりました。まだまだコロナ感染者数の激減、収束は見通せませんが、本年は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令はなく、経済を回していく方向に大きくかじが切られました。今後は、九州各県の県民割、九州ブロック割、また再開が期待されるGo Toトラベルキャンペーンの復興チャンスをしっかりとつかんで、KNT－CTパートナーズ会と会社が協力して生き残りをかけて取り組んでまいります。

昨年度を振り返りますと、久々に九州では大きな地震や水害はございませんでしたが、熊本地震から6年、人吉市を中心とする令和2年7月豪雨から2年と、いまだに被害から回復できない状況が続いている地域もあり、一日も早い復興をお祈りいたします。一方、うれしいニュースとして、九州で2番目の世界自然遺産登録「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が誕生いたしました。「屋久島」と含めて、九州の島旅も今後ますます活況を呈するものと期待しています。

九州全体の宿泊券の数値は、対前年115％と増加の報告を受けていますが、コロナ前の2019年比では、40％とまだまだ厳しい状況が続いております。その中で教育旅行については、2019年の数値を上回り、好調に推移しております。教育旅行の取り組みですが、九州連合会の中に「教育旅行委員会」をおいて九州への誘客活動に力を入れてまいります。

さて本年度の九州連合会事業ですが、コロナ禍の中でなかなかリアルでの実施ができなかった「近畿日本ツーリスト・クラブツーリズムの社員」との商談会を実施する予定です。また、九州域内の取り組みとして「九州旅丸会24社」との連携を強化して域内需要の掘り起こしを行います。

さらに、本年9月23日に西九州（長崎）新幹線が、佐賀県・武雄温泉駅から長崎駅の区間で開業しますが、この新しいコンテンツを九州への誘客につなぐ起爆剤として商品展開をサポートしてまいります。

最後になりますが、今後とも皆さまのご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

関西連合会

「大阪・関西万博」生かす

井上　義一（金波楼）

令和とともに新たに発足しましたKNT－CTパートナーズ会会員の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルスによるこれまで誰もが経験したことのない辛苦の2年と半年だったことと存じます。

このような大変厳しい環境にもかかわらず、関西連合会ならびに各部会、支部活動に多大なご支援をいただいておりますことにまずは衷心より御礼申し上げます。

中照策初代会長から関西連合会長の大役をお引き受けし、1年が経過いたしました。この間、会社も事業構造改革を断行され、また、旅行業という枠だけにとどまらず、将来を見据えた新たな事業領域の拡大を図っていると伺っております。このような会社の方針と協同して、本年度の事業活動を展開してまいります。

コロナ禍によりこれまで多くの活動休止を余儀なくされましたが、本年度においては、宿泊、運輸、観光3部会の連携を一層強化し、地域文化へ貢献するとともに、より質の高いサービスの提供と会社の旅行商品の造成に寄与すべく取り組んでまいります。

幸い、関西におきましては、開幕まで約千日となりました「大阪・関西万博」や誘致を図っている「IR」を筆頭に今後大きなイベントが目白押しとなっております。なかでも「大阪・関西万博」は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、われわれのビジネスである観光においてもSDGsやカーボンニュートランペーンキックオフを実施しました。KNT－CTパートナーズ会会員の皆さまとKNTホールディングスの中で、各種メディアに露出をはかり、告知展開を実施する予定です。都会とは連携して、このキャンペーンを通じ中国5県各地の知恵を持ち寄りながら、情勢に慎重に、時に英断もしながら、地域経済発展に努めてまいります。

期する今年の旅行回復傾向もあり、マイクロツーリズムから広域移動のお客さまも上昇する動きを活性化して会社と一緒に活動してまいります。また、花火や祭りなど地域イベントも復活の兆しであり、クラブツーリズムとの協業で全国からのお客さまに選ばれる準備をしてまいります。

最後になりましたが、KNT－CTパートナーズ会会員の皆さまとKNT－CTホールディングスグループ各社の皆さまのご繁栄をご祈念申し上げますとともに、中国連合会への一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

中国連合会

復活へ 山陽山陰キャンペ

中島　伸之（望湖楼）

去る5月16日、中国連合総会を開催し、ニッポン旅列島・山陽山陰キャンペーンキックオフを実施しました。KNT－CTホールディングスからは米田社長、クラブツーリズムの酒井社長をはじめ社員60名余り、会員140名さま超の参加で、商談会・意見交換会と非常に活発な意見交換・情報提供の場となりました。

中国連合会では、パートナーズ会会員の皆さまと会社と連携して、このキャンペーンを通じ中国5県各地の知恵を持ち寄りながら、情勢に慎重に、時に英断もしながら、地域経済発展に努めてまいります。

期する今年の旅行回復傾向もあり、マイクロツーリズムから広域移動のお客さまも上昇する動きに伴い、観光3部会の連携を一層強化し、地域文化へ貢献するとともに、より質の高いサービスの提供と会社の旅行商品の造成に寄与すべく取り組んでまいります。

幸い、関西におきましては、開幕まで約千日となりました「大阪・関西万博」や誘致を図っている「IR」を筆頭に今後大きなイベントが目白押しとなっております。なかでも「大阪・関西万博」は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、われわれのビジネスである観光においてもSDGsやカーボンニュートランペーンキックオフを実施しました。KNT－CTパートナーズ会会員の皆さまとKNTホールディングスの中で、各種メディアに露出をはかり、告知展開を実施する予定です。都会とは